

第1号議案

平成25年度 事業報告

全体事項

平成 25 年度も法人の理念である、入居者・利用者の尊厳の保持、意向の尊重、自立支援を念頭に置きサービス提供に努めてまいりました。

24 年度に市内で老人保健施設が開設されたことにより利用者が減少するという影響を受けた為、これを教訓として、介護サービスの質の向上に努めること、更には、当施設の魅力を積極的に発信する取り組みを行いました。

サービスの向上については、多様化する利用者等のニーズに対応するため、特別養護老人ホームと短期入所生活介護事業所の一体運営を本格実施致しました。

魅力発信については、地域の皆様にご協力いただき、老人会や地域の各種会議に当法人職員も出席させていただき、介護保険制度や当法人が実施しているサービスについて説明をさせていただき、地域の皆様と交流を深めることで、地域ニーズ等の把握に努めました。

今後も地域交流を積極的に進めて、まずは老人福祉の拠点となることを目指すと共に介護サービスにおいては、入居者・利用者の皆様に、より満足していただけるサービスを提供できるように取り組んでいきます。

B 共通事項

1 介護サービスの質の確保

特養とショートの一括運営の実施については、多様化する入所者・利用者のニーズに対応し、よりきめ細かいサービス提供ができるように 25 年度より本格実施しました。

今までデイ・ショートを在宅サービスとして捉え、一括運営していた時の良さを生かし、施設サービスを利用していただいても楽しく過ごしていただける時間を増やすことを積極的に取り組み、入居者・利用者のニーズに対応することができました。また、一括運営を行うことで、特養及びショートの空きベッド状況を正確に把握でき、利用者等が希望される日程に合わせて利用していただくことができるようになりました。

今後も、介護サービスの質及び個別ニーズへの対応力の向上に努めてまいります。

職員研修の充実と人材育成及び職場の活性化については、25 年度も外部研修には積極的に参加し、職員の介護技術等の向上に取り組みました。特に社会福祉法人の地域貢献

や地域との関わり等の研修には積極的に参加しました。

内部研修においては、職員のスキルアップを目的に、介護サービスに特化した体系的な研修として、介護人材育成研修を実施しました。研修内容としては、法人の理念に基づいた介護サービスが提供できるように、高齢者介護に対する考え方や介護技術の指導を通して入居者・利用者への関わり等を学ぶ場となりました。研修を実施するにあたり、参加希望者を職員から公募し、5名の職員が年間10回の研修を受講しました。介護職員の質の向上を目的に26年度も介護人材育成研修を実施する予定にしております。

職場の活性化を目的に26年度から本格実施する人事考課制度については、公正・中立に行うために、考課者研修を4回、職員向けの研修を1回、また、人事考課の試行を上期と下期の2回取り組みました。

2 安全・安心な施設への取り組み

当施設が開設し26年が経過し、建物の老朽化が進む中で、入居者・利用者の皆様が安全・安心に建物を利用していただくために建物改修等を進めました。夏季の暑さ対策として、日差しの強い建物西側の居室・食堂・廊下ガラスに日射調整フィルムの貼付工事を実施しました。この工事については京都府の福祉施設人材確保・サービス向上補助金事業として申請し、工事費の1/2の補助をいただきました。また、経年により空調機器の能力が低下していたため、館内の冷暖房機器の一斉点検を実施し、緊急に対応が必要なものについては専門業者による清掃及び修理を行いました。

その他、消臭対策として、施設内の換気扇の点検を実施し、機器内部の清掃及び換気扇の取替え交換工事を実施しました。

平成26年度はこれら設備全般について中・長期の改修計画を作成し、計画的に順次改修工事を実施していきます。

3 新給与制度への移行

給与制度の見直しについては、人事院勧告に基づく給与から独自の給与制度を策定する方向で検討を重ねてきました。新給与制度においては、経営基盤の強化のためにも、

職員一人ひとりがやり甲斐の持てる制度であることが重要であるため、資格手当の充実や事業実績に応じた昇給等の規程を盛り込み、25年7月より実施することができました。今後も引き続き改善すべき点については検討していきます。

4 地域との交流事業の推進

地域との交流については、5月30日に西遊寺保育園の園児が来館し、歌と踊りを披露、7月1日に橋本小学校1年生が七夕飾りを持って来館し、歌も披露してくれました。

10月20日には橋本平野山町内会の子供会の皆さんが「こどもみこし」を担いで当館に立ち寄ってくれました。また、橋本小学校区福祉委員会一木会の皆さんからも七夕飾りをいただきました。

9月5日には八幡市老人クラブ連合会の皆さんが来館され、歌謡曲から民謡の合唱・演奏、民舞にフラダンスとさまざまな演目を披露していただきました。11月16日に橋本公民館で開催された四区橋本文化祭に利用者の作品を出展し、文化祭当日は出展された入居者・利用者の方が参加されました。

9月28日には、地元4区主催の敬老会に入居者4名が出席されました。

その他、高齢者の皆様の暑さをしのぐ場所として「涼やかスポット」を7月1日から9月30日の9時から17時の間、1階ふれあいひろばに設けて、利用していただきました。

6月9日には「ささえあい ともに歩もう」をテーマに「八勝館まつり」を開催しました。開催にあたっては、多くのボランティアの方々にご協力いただき、当日はたくさんの方々に来館していただき盛大に行うことができました。

地域の皆様に当施設を知っていただく取り組みとして、25年度は7つの関係団体の会合等に参加させていただき、介護保険制度の説明や各介護サービスの手続き方法等を説明させていただき、その際の、当法人で行っているサービスについても併せて説明させていただきました。また、11月2日に施設見学会「オープンデー」を開催し当日は11名の参加がありました。その後、参加していただいた方の関係者が当施設のサービスの利用に繋がったケースもありました。次回からは、地域の皆様への周知の方法を増やしていきます。今後も地域との関りについては積極的に取り組んでいきます。

5 役員会等の状況

① 評議員会の開催状況

開催年月日	出席者数	審議内容
平成 25 年 5 月 25 日	13名 (監事1名)	<ul style="list-style-type: none"> ① 平成 24 年度事業報告（案）について ② 平成 24 年度収支決算（案）について ③ 社会福祉法人八幡福祉協会定款の一部変更（案）について ④ 就業規則の全面改正（案）について ⑤ 嘱託および臨時職員就業規則の全面改正（案）について ⑥ 定年退職者継続雇用規則の一部改正（案）について ⑦ 給与・退職金規程の全面改正（案）について ⑧ 継続雇用職員給与規程の一部改正（案）について
平成 25 年 9 月 8 日	14名 (監事1名)	<ul style="list-style-type: none"> ① 理事の退任及び理事の選任について
平成 25 年 11 月 14 日	13名 (監事2名)	<ul style="list-style-type: none"> ① 平成 25 年度 事業中間報告について ② 平成 25 年度 中間決算報告について
平成 26 年 3 月 20 日	12名 (監事1名)	<ul style="list-style-type: none"> ① 平成 25 年度収支予算補正（案）について ② 平成 25 年度移行時特別積立金取崩の変更（案）について ③ 平成 26 年度事業計画（案）について ④ 平成 26 年度収支予算（案）について ⑤ 平成 26 年度移行時特別積立金取崩（案）について ⑥ その他の積立金の目的変更(案)について ⑦ 人事考課規程（案）について ⑧ 給与・退職金規程の一部改正（案）について ⑨ 旅費規程の一部改正（案）について

② 理事会の開催状況

開催年月日	出席者数	審議内容
平成 25 年 5 月 25 日	6 名 (監事 1 名)	① 平成 24 年度事業報告 (案) について ② 平成 24 年度収支決算 (案) について ③ 社会福祉法人八幡福祉協会定款の一部変更 (案) について ④ 就業規則の全面改正 (案) について ⑤ 嘱託および臨時職員就業規則の全面改正 (案) について ⑥ 定年退職者継続雇用規則の一部改正 (案) について ⑦ 給与・退職金規程の全面改正 (案) について ⑧ 継続雇用職員給与規程の一部改正 (案) について
平成 25 年 9 月 8 日	7 名 (監事 1 名)	① 評議員の退任及び評議員の選任について ② 施設長の退任及び施設長の選任について
平成 25 年 11 月 14 日	6 名 (監事 2 名)	① 平成 25 年度 事業中間報告について ② 平成 25 年度 中間決算報告について
平成 26 年 3 月 20 日	5 名 (監事 1 名)	① 平成 25 年度収支予算補正 (案) について ② 平成 25 年度移行時特別積立金取崩の変更 (案) について ③ 平成 26 年度事業計画 (案) について ④ 平成 26 年度収支予算 (案) について ⑤ 平成 26 年度移行時特別積立金取崩 (案) について ⑥ その他の積立金の目的変更 (案) について ⑦ 人事考課規程 (案) について ⑧ 給与・退職金規程の一部改正 (案) について ⑨ 旅費規程の一部改正 (案) について

③ 監事監査の実施状況

平成 25 年 5 月 16 日、監事 2 名による監査を実施していただきました。

その結果、事業報告書等は、関連する法令及び通知に従い、当会の事業の執行状況を正しく示し、不正の点はないと認めていただきました。

6 その他の状況

① 衛生教育について

年 月 日	参加人数	内容
平成 25 年 10 月 16 日	34 名	メタボリックシンドロームについて

② 施設内研修について

年 月 日	参加人数	内容
平成 25 年 4 月 17 日	30 名	看取り介護について
平成 25 年 7 月 23 日	34 名	救急車が来るまでにあなたができること
平成 25 年 11 月 13 日	36 名	第 11 回 事例研究発表会
平成 26 年 3 月 13 日	32 名	人事考課制度導入に向けて

③ 職員健康診断

年 月 日	検診内容	受診者数
平成 25 年 11 月 7 日～11 月 20 日	職員インフルエンザ予防接種	57 名
平成 25 年 10 月 23 日	職員健康診断（腰痛検診含む） ※当日未受診者は、医療機関にて実施	45 名
平成 26 年 3 月 3 日～3 月 10 日	職員健康診断（夜勤業務実施者）	28 名
平成 26 年 3 月 14 日	腰痛検診	30 名

④ 消防訓練の実施状況

年 月 日	時 間	備 考
平成 25 年 10 月 31 日	午後 3 時～	昼間訓練（消防署立会い、AED 研修を併せて実施）
平成 26 年 3 月 4 日	午後 3 時～	夜間訓練（想定で実施）

⑤ 研修（実習）受入状況

平成 25 年度の介護福祉士実習として、京都八幡高校介護福祉科の 1～3 年生の計 10 名、京都医療福祉専門学校 の 2 名、京都聖母女学院短期大学生生活科学科の 4 名、職場体験学習として男山第 2 中学校の 2 名を実習生として受け入れています。

7 各事業所の事業報告

施設サービス事業所

(1) 特養介護室

特養とショートステイの一体運営を施行するにあたり、業務の見直しを繰り返し行い、より入居者に対しきめ細かいサービスが提供できるよう努めました。入浴・食事・排泄介助については、ミニケース会議を随時行い、入居者の状況に応じその都度対応できるよう取り組み、できる限りゆとりあるサービスの提供に努めました。

入居者が安心して生活していただくために、日々の生活状況や心身の変化等を把握するために介護職員と看護職員が連携を取り、また事故やケガの発生状況については、事故防止委員会や会議等で検討し再発防止に取り組みました。

看取り介護を実施する上で緊急時の対応を強化し、ご家族への連絡を密に行い、入居者やご家族に安心してサービスを利用いただけるよう取り組みました。

入居者やご家族の意向・要望・苦情については、できる限り迅速な対応に心がけ、また年に一度満足度調査を実施し、問題点や改善点を各会議等で対応策を検討し入居者のサービス向上に取り組みました。

(2) 医務室

介護職員と絶えず密接な連絡を図り、より良い介護、安心した施設生活が送れるよう支援し、適時適切な対応を図る等、入居者の健康管理に努めました。

特にインフルエンザやノロウイルスなどの感染症を発生させないために、体調管理、衛生管理には最新の注意を払い、25年度は施設内で感染症が発生しましたが、拡大するようなこともありませんでした。

看取り介護の取り組みについても、入居者家族、嘱託医、介護職員と連携を図り、家族様の要望に沿ったケアが提供できるように取り組みました。

今後も入居者・利用者のニーズに沿ったサービスが提供できるように勤務時間や業務内容等を検討し、サービスの質の向上に向けて取り組んでいきます。

(3) 特養入居者等の状況

① 旧措置者と介護保険入居者の割合

年 月 日 (現在)	旧措置者	介護保険施行後入所者	介護保険施行後入居者率
平成 25 年 3 月 31 日	2 人	6 4 人	9 7 %
平成 26 年 3 月 31 日	1 人	6 9 人	9 8 %

② 退所状況 (人)

年 月 日 (現在)	死亡	解約の申出	合 計
平成 25 年 3 月 31 日	1 5	5	2 0
平成 26 年 3 月 31 日	1 2	5	1 7

③ 要介護度の状況 (人)

年 月 日 (現在)	要介護度					平均要介護度
	1	2	3	4	5	
平成 25 年 3 月 31 日	0	7	1 6	2 0	2 3	3. 9
平成 26 年 3 月 31 日	0	9	1 6	2 0	2 5	3. 8 7

④ 利用実績 (人)

年 度	延入居者数	一日平均入居者数	備 考
2 4	2 3, 2 6 1	6 3. 7	稼働率 91%
2 5	2 4, 1 5 7	6 6. 1	稼働率 94. 4%

⑤ 入居者検診状況 (人)

年 月 日	検診内容	受診者数
平成 25 年 10 月 8 日	胸部レントゲン撮影 在館 68 名 (入院先撮影者等 4 名)	64 名
平成 25 年 11 月 11 日～ 平成 26 年 1 月 27 日	入居者インフルエンザ予防接種 ※入院中の入所者については、入院 先の病院で接種されています。	62 名

⑥ 行事等実施状況

開催日	行事名	開催日	行事名
8月4日	花火大会	12月25日	年忘れ会
9月29日	敬老祝賀会	12月27日	もちつき大会

(4) (介護予防) 短期入所生活介護事業所

特養とショートステイの一体化を施行するにあたり、利用者本位のケアの在り方を検証し、利用者の満足を追及したサービス提供ができるよう各会議等で問題点・改善点を話し合い業務改善に取り組みました。

レクリエーションについては、特養職員と連携し、身体や頭を使う体操、ゲーム、おやつ作り、創作品等に取り組みました。

稼働率の改善に向けての取り組みについては、新規利用や緊急利用の希望があった場合には速やかに面接・契約を済ませ、また、ショートステイのベッドが満床時は特養と連携をとり、空きベッドを有効活用し一人でも多くの方にご利用頂けるよう努めました。

(5) 身体障害者短期入所生活介護事業所

実利用者人数は3名で、内2名は介護者の介護負担軽減を目的に、毎月定期的に利用されています。

(7) ショートステイ年間利用稼働率 (短期入所・介護予防短期入所・身障短期入所)

年 度	年 間	月平均	一日平均	稼働率
24年度	4,465人	372.0人	12.23人	87.3%
25年度	4,835人	402.9人	13.24人	94.5%

調理室

(1) 生涯を通じて健康を支える食事の提供

安全対策に細心の注意を払い、ノロウィルスをはじめとする食中毒や異物混入などの事故による入居者、利用者に対する健康被害もなく、安心して食べていただける食事を提供することができました。また、看取り対応の方が増える中、その方の心身の状態に応じた適切な量や形態を補助食品なども含め他職種と共に検討し、出来る限り経口摂取を維持することができ、最期まで満足できる生活を送っていただくことができました。

(2) 食事サービスの拡大、充実

年間行事予定を計画し、それに基づき行事食、イベント食の提供ができた。内容は、五感で食べる食事の提供（デイでは、てんぷら、麺類、洋食、中華、にぎり寿司バイキング、特養では、デザートバイキング）を行ない、東北応援ウィークや、日本全国ご当地メニュー等を昨年度と違うメニューで提供しました。また、これらのイベントを特色ある食事サービスと捉え広報誌に載せることができたが、今後はホームページでの発信もしていきます。

(3) 災害時の食事提供方法の確立

以前京都府南部地域において豪雨による水害が発生し、給食提供が困難となった施設がありました。その際、非常食を提供しようとしたが停電が発生し非常食の置き場所がわからない状況となった。そのことを受け、当施設としても非常食の設置場所をわかりやすい場所に置き換え、災害時でも全職員が対応できるようにしました。

(予防) 通所介護事業所

25年度は機能訓練及び口腔体操等の継続に努めました。

機能訓練については、2名の利用者に対し個別プランを作成し、実施した結果、歩行機能の向上につながり、その取り組み内容等については施設内事例研究発表会にて発表しました。

昼食前にDVDを見ながら行う、体を動かす体操や頭の体操、誤嚥防止を目的とした口腔体操については、ほぼ全員の利用者に参加して頂けるようになりました。

認知症ケアについては、利用者が主治医の診察を受ける際に詳細な状況を報告していただく為、家族に対して利用時の状況報告を積極的に行いました。その結果、内服薬の調整等により症状が安定するようになりました。

自立支援及び介護予防の取り組みとして、レクリエーションでは、全員参加型の小物作りに取り組み、利用者及び家族に好評でした。また、壁画及びカレンダー作りにも楽しみながら積極的に参加していただく工夫とその作品をふれあい広場の壁面に飾ることにより成果を実感していただきました。

脳トレドリルに関しては、利用者の席から近い場所に置くことで、自主的に取り組まれるようになりました。

利用者の楽しみであるお菓子作りは、毎月3回企画し、おはぎやスイートポテトなど季節感を感じて頂けるお菓子を取り入れました。

利用者確保については、当事業所での取り組みを掲載したデイ通信を毎月発行し、利用者及び居宅サービス事業所へ配布しました。また、25年度より取り組んでいる無料体験については、21名の体験利用があり、そのうち13名がサービス利用につながりました。

利用状況

(人)

年 度	要介護1~5	要支援1,2	一日平均	備 考
24年度	4,266	734	16.23	
25年度	5,195	475	18.4	

外出行事の状況

実施日	目的	行き先	参加人数
4月1日～5日	花見外出（桜）	宇治搭の島	34人
6月10日～14日	花見外出（菖蒲）	枚方山田池公園	32人
11月25日～29日	紅葉外出	西山公園、柳谷観音	35人
3月5日～11日	花見外出（梅）	長岡天満宮	36人

在宅介護支援センター事業報告

地域の相談窓口として、利用者、家族及び関係機関からの相談に積極的に関わりました。民生児童委員からの相談については、関係機関と連携し、適切なサービスへつなぐことができました。

また、新たな活動として介護保険サービスや施設概要等の説明会の開催、学区福祉委員主催の認知症に関する研修会への講師派遣およびふれあいサロンに積極的に関わるよう努めました。

八幡市からの委託業務の実施状況は下記の通りです

(1) 相談業務実施状況 (人)

年度	年間	月平均	備考
24年度	91	7.6	
25年度	83	6.9	

(2) 高齢者の実態把握等実施状況 (件)

年度	実態把握件数	福祉用具購入支援数	住宅改修支援数
24年度	37	30	14
25年度	22	6	12

(3) 配食サービスの実施状況

年度	人数	延べ食数
24年度	200人	3,098食
25年度	193人	3,148食

(4) 介護予防事業開催状況

年度	開催回数	利用延べ人数	1回平均人数
24年度	24回	362人	15.1人
25年度	24回	319人	13.2人

居宅介護支援事業所事業報告

利用者及び家族からの依頼又は関係機関からの紹介により新規利用者を受け入れサービス提供事業所と連携を図り、公正中立にサービス調整を行いました。

専門研修及び八幡市老人福祉施設連絡協議会の開催する研修会に積極的に参加し情報収集や自己研鑽に努めました。苦情については、家族等の意見を十分に伺い、適切に対応しました。

ケアプラン作成、代行申請状況

年度	ケアプラン		代行申請		備考
	件数	月平均	件数	月平均	
24年度	719	59.9	11	0.9	
25年度	717	59.7	42	3.5	更新、区分変更、新規申請

8 評議員・理事・監事等名簿

(平成25年3月31日現在)

役職名		氏名	就任年月日	任期
理事長	評議員・理事	小堀 重男	平成24年6月1日	平成26年5月31日
職務代理者	評議員・理事	小島 廣政	〃	〃
職務代理者	評議員・理事	田中 貞雄	〃	〃
	評議員・理事	中西 久子	〃	〃
	評議員・理事	植村 吉博	〃	〃
	評議員・理事	道本 俊規	〃	〃
施設長	評議員・理事	遠州 伸高	平成25年11月1日	〃
	評議員	宇都宮美恵子	〃	〃
	評議員	柴山 敏子	〃	〃
	評議員	田部 晴雄	〃	〃
	評議員	松崎 祥三	〃	〃
	評議員	寺村 紀子	〃	〃
	評議員	本郷 俊明	〃	〃
	評議員	徳田 竹司	〃	〃
	評議員	中川 晶勝	〃	〃
	監事	森川 修巳	平成24年6月1日	平成26年5月31日
	監事	大高 友紀	〃	〃

苦情解決第三者委員	北村 郁子	
-----------	-------	--